

松伏町第6次総合振興計画（素案）に係るご意見とそれに対する町の考え方

松伏町第6次総合振興計画（素案）に係る意見募集を実施した結果、27名の方から82件のご意見をいただきました。提出されたご意見について検討し、町の考え方として取りまとめましたのでお知らせします。貴重なご意見をありがとうございました。

なお、ご提出いただいたご意見については、住所・氏名などの個人が特定され得る情報を除き、原則として全文そのまま転記したものを掲載していません。

1 松伏町第6次総合振興計画（素案）に係る意見募集の概要

実施期間	令和5年9月4日(月)から令和5年10月3日(火)まで
対象者	松伏町内に在住、在勤、在学の方
計画の閲覧場所	松伏町ホームページ、役場本庁舎1階町政情報コーナー、中央公民館図書室、多世代交流学習館図書室、北部サービスセンター、B&G海洋センター
実施結果	<ul style="list-style-type: none">・意見提出者：27名・意見数：82件・意見の提出方法：メール9、FAX8、来庁5、郵送5・意見の提出者の地域：ゆめみ野11、松伏7、ゆめみ野東4、田中3、下赤岩2

内容	件数
道の駅についてのご意見	21
公共交通についてのご意見	17
序論についてのご意見	3
大綱1（子育て、教育）についてのご意見	8
大綱2（健康、福祉、社会保障）についてのご意見	6
大綱3（人権、地域コミュニティ、スポーツ・芸術・文化）についてのご意見	5
大綱4（産業振興）についてのご意見	2
大綱5（生活基盤整備）についてのご意見	3
大綱6（生活環境、安全・安心、防災）についてのご意見	5
大綱7（行財政運営）についてのご意見	7
土地利用構想についてのご意見	1
その他のご意見	4
合計	82

2 項目の見方

意見 No.		ご意見	町の考え方	素案の修正の有無
17	1	P5 ⑤安全・安心への意識の高まり 2行目 「首都直下地震」は「首都圏直下型地震」ではないか	「首都直下地震対策特別措置法」などでは「首都直下地震」と位置付けされております。	無

(解説)

- ・意見 NO. : 17 番目に意見を提出した方の、1つ目のご意見という意味です。
- ・ご意見 : ご提出いただいたご意見について、住所・氏名などの個人が特定され得る情報を除き、原則として全文そのまま転記したものを掲載しています。
- ・町の考え方 : いただいたご意見に対する町の考え方です。
- ・素案の修正の有無 : 松伏町第6次総合振興計画(素案)に対する、修正の有無です。

3 ご意見とそれに対する町の考え方

・道の駅についてのご意見に対する町の考え方

意見 No.		ご意見	町の考え方	素案の修正の有無
1	2	・道の駅に対する採算性 持続見込みの調査があまく不安。成功出来るのかもっとしっかり精査検討して欲しい。 「推進」するのは それからだと思う。	<ul style="list-style-type: none"> ・バスターミナルを併設した道の駅の設置につきましては、事業採算性などを踏まえ進めてまいりたいと考えており、その旨の文言を追記いたします。 ・道の駅につきましては、第5次総合振興計画の基本構想において、「松伏らしい文化や地域資源を対外的に発信するとともに、町民の生活活動の拠点として、バスターミナルを併設した道の駅の設置を推進していきます。」と位置づけてまいりました。 第6次総合振興計画策定のための町民意識調査において、「住みにくさ・くらしにくさ」を感じる点として、「通勤・通学に不便である」「都心に出るのが不便」という意見が多数を占めており、中学生・高校生アンケート調査においても、「10年後の町に望むこと」の最も多い意見が「鉄道やバスルートの充実など公共交通の利便性が高いまち」となっております。 	有
2	2	2. 道の駅構想を検討から推進に変更した点です。道の駅とバスターミナルとの構想は、別の問題です。バスターミナルは賛成 道の駅ありきで推進することは、その内容（経営・財源）などの面が昨年度問題がある。としたことの考察が不十分という点を考えるならば、検討が妥当 推進とした理論性がみられない。 ※審議会では、言葉遊びではなく、町民の声を真摯に受け止めて、審議をお願いします。	<ul style="list-style-type: none"> ・こうした調査結果を受け、次期計画案では、東埼玉道路で計画されるBRT（バスラピッドトランジット）事業と道の駅整備事業を、一体的に進めることが、町民の都内へのアクセス向上のためのバスターミナルの実現に最も有益と考えております。 	
5	3	3) P49 道の駅に関して バスターミナルを併設した道の駅を推進するとなっておりますが、これは作ることを前提とした話でしょうか？予算、将来的な採算見通し、町の財政的な負担、運営の仕方、道の駅の特徴、バスターミナルの現実的な有用性など、まだまだ問題が山積みです ◎提案：議論する問題を絞った上で、推進するのを是とする側、是としない側に別れて、町民を中心に年齢、性別、地域、会派を超えた形で公開ディベート討論会を開催してみたいかがでしょうか。お互いを攻撃するのではなく、あくまでメリット、デメリットを明確にするのが目的です。 町は中立の立場で、情報提示しながらまとめていく形が良いかと思えます。	<ul style="list-style-type: none"> ・加えて、バスターミナルの整備による町内バス網の充実のほか、道の駅の整備により、町民の買い物、娯楽に対するニーズの充足、更には新たな雇用や産業活動の場の創出、交流人口の増加などが期待できるものと考えております。 ・なお、道の駅やバスターミナルの整備につきましては、事業の進捗により情報提供を行ってまいります。 	
6	1	○基本的に道の駅事業構想には賛成します。 ただ採算が見込めないのであれば、計画の見直しは必要だと思います。 ○予定地は田島と表記されてますが、新道沿なのでしょうか？ ならば、AZCOM関係者の利用は必定なので関連企業からの協賛・支援を要請してみたいかがか… ○全国の道の駅を訪ねてますが、明確な方向性を打ち出している営業所は概ね商業的に成功していると思います。 ○つまり、道路利用者の為のサービスエリアの様にするのか？		

		<p>生鮮野菜や特産品を前面に押し出した地元のショッピングセンターのようになるのか？ 近郊の住民を誘致する為にアミューズメント性を併設させるのか？ ○埼玉北部に散見される寂れた八百屋の様な道の駅にならない事を望みます。</p>		
7	2	<p>●第二：道の駅問題 議会で道の駅が議題になり、議論されました。収支計画の甘さが指摘され、松伏町には、問題山積みの道の駅は無理と解釈していました。 しかし、計画には「田島地区にバスターミナルを併設した道の駅の設置を推進します。」とあり驚きです。 今一度「道の駅」について指摘されたことを考慮し、再考を願います。 町の知恵を総動員して、今ある既存の施設の方向で考えていただきたいと思いをします。 大切な税金を多くの住民が望む重点課題を優先に使っていただき、これからも町の住民の安心・安全なくらしに力を注いでいただけたらと思いをします。</p>		
8	1	<p>重点戦略2) 次世代につなぐ活気と賑わいのあるまちづくりについて のところに、バスターミナルを併設した道の駅の設置推進とありますが、道の駅の経営がうまくいくか心配です。車の交通量がどのくらいかもわからないし、目玉になるような商品もないため、わざわざ松伏の道の駅に人が立ち寄りとは思えないです。又、バスターミナルを併設すると、どのように便利になるのかがよくわからないです。</p>		
10	1	<p>「道の駅」について ①全国の道の駅の3割が赤字、自治体の補助がなければ5割以上が赤字であると云われています。 建設には国から補助金が出るとは云え、維持・管理に町の税金が使われる事になるのは必然でしょう。 農産物に関しても近くに越谷マルシェがあり、松伏の農協内の直売所より充実していて、現状でもそちらを利用する方が多い。他に差別化を図れる様な特徴あるものも無い。新設の田島の工業の流通団地の労働者向けのお弁当なども考えられていると聞いたことがあります。働く側から考えると短い昼休みにわざわざ買いに出かけるか？届けるとしたら、注文・配布方法等繁雑化で黒字化になるか疑問。 ②バスターミナルと併設と記されています。 一見、サービス向上の様にも思われますが、問題が多いと考えます。 「利用したい」「利用し易い」と思うのは、コース・便数によります。便数が少なく1日数便なら、結局利用者は増えず廃止の方向へ向かうでしょう。それより7～8人乗りのバン等が、数コース巡回させる方が利用しやすくニーズに合っ</p>		

		<p>いると思います。各駅へのバスは現況を維持、あるいはせんげん台の便数を増やす又はコースの変更など、バス会社との協議で良いのではと。</p> <p>そうであれば、バルターミナルは新設せずとも、町役場基点が良いはずで。公共交通の為の決定協ギ会の設置等、真剣な対策が必要と思われます。</p> <p>税金は道の駅ではなく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低い年金だけで暮らしている高齢者への支援 ・具体的に今、要請されている学校給食費無償化等子育て支援に使って頂きたいと思います。 	
12	2	<p>③P49の「バスターミナル併設の道の駅」が、5次の「検討」から「推進」の言葉の記載に変わったことはなぜなのか、6次総の背景、理由を記載し、または是非、ホームページに公開して下さい。松伏町では高額なる設備投資になります。「2年前から何を検討し、何がわかったのか」を明記すべきと考えます。それが信頼に繋がります。町民を踏まえての議論、単に賛成、反対ではなく、前段2に書いたように「目的は何か」「何のために作るのか」「町民の生活の変化は」などを明記することが大事である。そして「公開討論会」を何度でも開催して頂きたい。町は「バスタ付き道の駅」ありきで進めるのではなく、「ただできたらいいな、にぎあうから」ではなく、得た情報を中立的立場で考え、目的を標榜、宣言し、成果目標を情報公開して、全員を納得させる。町の存亡を決めるリスクが伴う規模の税金投入であると考えます。行政サイドだけで進めると大変に危険なことだと示唆します。</p>	
13	1	<ul style="list-style-type: none"> ・土地利用構想の中でバスターミナルを併設した道の駅構想があります。 <p>一見、交通問題と町おこしを兼ね備えているかのように感じますが、道の駅については、収益の見込みが不確かであり経営が成り立つのか。かえって町の財政をひっ迫させるのではないか。という問題が解決されていないまま第6次総合計画の中で「推進」と表記されていることに疑問を感じます。まだ、推進の段階ではないと思います。</p>	
14	2	<p>4) 道の駅について「推進する」と変更した点について、この間、道の駅の収支計算についての問題を指摘してきました。(松伏の未来を考える会から担当課長、町長、町議会の方へ) 町の収支計画は計算違いといってもよい内容でした。また、実際の交通量が計測できない事には計画を進めることは難しいことは町長が議会でも言ってきたことです。現状は検討しなければならない課題がはっきりしています。「推進する」というのであれば課題についての施策を明らかにしたうえで言わないと理解は得られません。やはり取るべきデータはしっかりとる。計算のやり直しは正確にする。松伏に道の駅を作るとなれば、経営を進めていくための周りの類似店状況や、何を特徴として利用者に訴えていくのか、町の観光施策ともしっかりリンクしてプランを作らないと、それぞれが孤立して立ち行かなくなります。それらを総合的に考えた上で、作れるのかどうか判断すべきだと思います。しっかり調査や基礎的なデータがあいまいな現状は「推進する」ではなく「丁寧に検討する」が最も適切だと思います。</p>	

15	2	<p>たくさんの素案の中のひとつである観光振興計画として、田島地区にバスターミナルを併設した道の駅の推進とあり、道の駅を作る事を前提として考えている事に驚きました。</p> <p>なぜ道の駅？道の駅を作る構想はどのようにして生じたのか？多額の資金を使い推進する必要があるのか？目玉となる特産物って何？どれだけの集客を見込んでいるのか？それで利益が生まれるのか？大きな疑問です。</p> <p>健全な財政運営の素案の中に、計画的な財政運営、財源の確保、財政の健全化の推進とうたっている文言がありますが、何をさしてこのような健全な財政運営といえるのか理解ができません。</p> <p>道の駅だけを取り上げて意見書を書かせていただきましたが、町民の税金である財源の使い道（道の駅に素案で考えている税金は他に回していただきたい。）私達町民に伝わるよう広報誌の活用方法も考えていただけたらと思います。</p>		
16	1	<p>第6次振興総合計画を拝見させていただいた感想、意見です。</p> <p><10年先、20年先の町民を幸せにするために></p> <p>1 限られた財源を不透明なものに使っていただいているのは困る。</p> <p>具体的には「道の駅」です。これは町民のためになるどころか負の遺産だと思います。</p> <p>以前、町が示した収支は黒字になるように調整したと思えるものでした。</p> <p>毎年億単位の赤字を町民に負担させてはいけないと思います。</p>		
18	1	<p>町の発展の事を考え、模索していただきありがとうございます。</p> <p>松伏町で暮らし、この町が好きで、納税者として一筆させていただきます。</p> <p>●「道の駅」には、反対します。町長の公約として、道の駅の建設があり、公約だからととられ過ぎてはいないでしょうか？一般町民から集めた税金を血税と認識しているのでしょうか？町長、推進派の議員、そして役場の方々。</p> <p>20億円（もっとですか？）もの税金を使い、5年後、10年後、～ずっと赤字を町民税で補填する事をどの様に考えているのでしょうか。私の税金は、使わないで欲しいです。</p> <p>どうしても推進したい、町長をはじめ、推進派の議員さん達で、まずは自分の支持者からクラウドファンディングの形でお金を個人的に集めてください。</p>		
20	2	<p>道の駅に関しては、不安しかない。維持継続のために補助金を出すことになれば大問題である。</p> <p>慎重に検討し判断してほしい。</p>		
21	3	<p>③道の駅推進について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題が多く現実的ではない ・既存の近隣の道の駅と比べて何かよほど差別化できる魅力的なポイントがない限り、集客は見込めない。にぎわうのはオープンしたての時だけになるのが容易に想像できる 		

		<p>・もし作るのであれば、わざわざでも立ち寄りたくなるような強みが絶対に必要不可欠な要素。それがないと閑散とした道の駅になってしまうのが目に見えるので作らない方がよい</p> <p>(例えば、町民はもちろん町外、県外からもわざわざ遊びに行きたくなるような管理が行き届いた魅力的でのびのびしたドッグラン&ドッグカフェ併設が売り、子どもファーストでわくわくする要素がある子連れの人たちがわざわざ行きたくなる道の駅等、多くのメディアに取り上げてもらえる要素が必要)</p> <p>・慌てて計画を推進しないで、リサーチを重ね、住民の意見に耳を傾けて検討してほしい課題</p> <p>以上です。締め切りの日ギリギリの提出になりましたが、どうか町民の意見として受けて頂けましたら幸いです。 宜しくお願い致します。</p>	
22	1	<p>①町は、一番大切な町民の意見を丁寧に聞く場や、困難を解決する組織を立ち上げるべきです。</p> <p>行政は、町民の意見を集約したり、聞く姿勢が何より大切です。役場の机上や視察のみで計画を策定することは、大きな過ちを犯すこととなります。特に「道の駅」に関しては町民の中に様々な意見や疑問、心配事が渦巻いています。町民の意見を丁寧に聞いて施策を策定するべきと考えます。</p> <p>②道の駅にバス停を作ることが書かれていますが、道の駅が前提ではなくて町全体で交通網をどのように整備していくかが問題となります。松伏町の一番の課題は、駅までのアクセスと町内の移動手段の確立です。アンケートでもこの問題が一番切実であると出ています。町は、町民の意見を十分に聞きながら駅までのアクセスの方法の確立と町内の移動手段の利便性を高めるべきです。</p> <p>ちなみに、マレーシアのクアラルンプールでは、都市内の路線バスはすべて無料で走っていました。交通網の整備は移動する権利や自由の保障としてとらえ松伏町独自のサービスとして確立し広く宣伝すべきです。そうすれば、町外からの移住者の増加はもとより町内にすでに住んでいる人にとってもいい政策になるのではないのでしょうか、やるなら町内バス無料化を是非実現してみてもはどうでしょうか。そして、それを広く宣伝すべきです。</p> <p>以上政策に関する意見を述べさせてもらいました。是非町民の声を丁寧に聞き、いい整備計画を策定してください。</p>	
24	2	<p>○第6次総合振興計画(素案) バスターミナルの併設した道の駅は推進しても無策と思われる。人口を考えてみて下さい。一軒の家から税金を支払って造るということは無理。それは考慮されます。考えられません。</p> <p>○第6次総合振興計画(素案)には次の問題があると考えます。 とにかく、交通が町民の皆様に納得される前までは造るべきではありません。</p>	

25	1	<p>松伏町に転入して20年以上になります。どちらかといえば、町の将来に今まで関心がなかったと言えます。しかし、近年、あちらこちらにターミナルができ、噂で近年中に道の駅ができるとのこと。我々町民に松伏町に必要なものでしょうか？トラックの量が増え、通勤・通学の時間がかかり、安全でしょうか？各家庭に車がないと生活しにくい町では、とても不便です。今後、高齢化が進むであろう松伏町。まずは、住民の生活しやすさ、雇用の促進、医療の確保に重点を置いた政策を願います。多額の借金に町の貧困化が懸念されます。もう一度、住民の立場になって検討願います。</p>		
26	1	<p>第6次総合振興計画（素案）の道の駅計画については、反対します。</p>		
27	1	<p>松伏町第6次振興計画（素案）の道の駅設置については、反対します。近隣の越谷に道の駅が計画されている中で、松伏町に設置すること自体を町の経営を任されている、町長・議員・関係者の良識を疑います。道の駅を造りたいなら、町長・推進する議員の皆様が自費で経営者として行ってください。なぜ、そこまでして道の駅にこだわるのか、利権が関わっているとしか思えない。町長・議員を辞めたら赤字になるうが関係ないからですか。本当に町民のことを考えているなら、手順を踏んで町民の意見を吸い上げる行動を行政者としてすべきでは。説明会の開催、住民投票の実施等、試算計画を外部の第三者機関に委託する等、町民の税金を無駄にしない為。経営が成り立つのか、町として町民の利益となるのか。計画ありきの手法は、おごりでは。選挙の時は、町民の皆様と言いながら、当選すれば手のひらを返したように、自分の為の施作立案としか思えない。自分の家族、子孫に誇れる行動をしませんか。町長・議員として。道の駅が造られたら、計画実行された方々は、町長・議員を含め施策にかかわった方は、道の駅近くに家族を連れて転居して暮らしてみる覚悟はありますか。</p>		
3	1	<p>・道の駅で農薬散布によって作られた作物を若い人たちは買わない。農薬が撒かれている田畑（田畑で農薬を撒いている姿）を見た所で作ったものは買わない。国もオーガニックへ移行している。農協はいつまでも農薬を売っているから合併→閉鎖が相次いでいる。「あそこで売っているものは農薬を使っているので異常が出るから食べない方が良い」と日本全国に広まるので道の駅をやるなら無肥料無農薬自然栽培で。</p>	<p>道の駅については、P2 意見No. 1-2からの町の考え方を参照ください。</p> <p>町では、新鮮で安全な農産物の供給が図られるため、地産地消の推進や環境にやさしい農業の推進を図っていく必要があると考えております。</p> <p>いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。</p>	無

・公共交通についてのご意見に対する町の考え方

意見 No.	ご意見	町の考え方	素案の修正の有無
1	<p>6次総の素案を拝見させて頂きました。 気になる点が有りましたので、お伝えします。 ★P29(8)公共交通の利便性の向上では、町内の移動と町外への移動が分けて考えられていないと思います。 ・特に町北部には多くの交通空白地域があり、住民がどの程度不便なのか？苦勞してるか？の綿密な実態調査をして欲しい。 そして将来安心して町内を移動出来る道筋をつけて欲しい。 ・バスターミナルに関しても住民のニーズをしっかりと調査した上で立地も含め検討すべき。ターミナルから近隣の駅に向かう路線なら、なるべく南部に作る方が良いと思う。</p>	<p>公共交通につきましては、町民の皆様の期待の高い、今後に取り組むべき最優先事項の一つとして認識しており、今後、地域公共交通活性化協議会の設置を検討しております。 このため次期計画案においては、大綱5「持続可能で利便性の高い快適空間のまちづくり」の大項目「3 持続可能な公共交通の整備と拠点づくり」に対し、新たに中項目で「(3) 地域公共交通活性化協議会の設置」の項目を追記いたします。</p>	
2	<p>第6次総合計画素案を読ませていただきました。 次の2点について、問題や不十分な面があり、指摘させていただきます。 1. 町民アンケートでは、圧倒的に公共交通の問題を指摘されていました。にもかかわらず、持続的可能という抽象的な表現で、具体的 例えば、法定協議会やプロジェクトチームを立ち上げるなど、が欠落していること。</p>		
11	<p>私は2020年に運転免許を返納しました。 第6次計画の地域公共交通（バス・タクシー）の維持、充実することを願い、その実態を述べたいと思います。 1. バスについて ・野田市駅方面への本数の充実（北越谷駅～野田市駅） 特に昼間の時間帯 ・バスの回数券の充実（多くして、それを100円券に充てる） 2. タクシーについて ・タクシー券の充実 北越谷地域では地域協定により松伏町発行の券は使えるが、南越谷では使えない。 ・コロナ感染の疑いがあり、係り付けの医院で診察してもらえず、埼玉筑波病院で診察を受けました。その際、タクシー券はなく息子に会社を休んで送迎してもらった。 3. 21世紀に入って松伏町に交通空白地域や町内移動が不便である実態があること。町行政の後進性に驚いている。住民の町内移動の困難さを解決することが第一の課題である。ぜひ共、問題解決のため、協議会を立ち上げ「地域公共交通計画」を作成して欲しい。以上。</p>		有

12	1	<p>計画（素案）の考察ポイントについて =====</p> <p>1、地域共生社会のまちづくりの未来志向の視点での基本構想になっているか 2、大綱には「目的」がドリブンとして明確に記載されているか 目的は成果創出の重要要素です 3、「課題」と「大綱」の政略が、矛盾なく繋がり、整合が取れ、的外れの欠落はないか 4、町民の「想い」と「多様性（他人への尊重）のニーズ」が、10年先の未来への解決の道筋が明らかか 5、「地域課題」を新しい公共として、的確に把握して、地域価値の仕組みの提供は網羅されているのか =====</p> <p>第6次総の中は「住民の未来への責任を果たすべく、未来志向の政策を進める」内容であるか確認します。</p> <p>①「地域交通」が未来を明るくすると言われる「地域公共交通政策」に関して P29記載の町民意識調査と多数なる意見の懇話会の「公共交通の利便性の向上」が町の取り組むべき「最優先事項」とあげられた。特に住民が離れていくさらに若者が強く望んだ「利便性をあげて欲しい」と多様なニーズがあるとアンケート結果である。これらの解決としてP42「大綱5-3」は町民の地域内の移動困難に伝えていく内容でないし整合が取れていない。「地域移動がどのような影響を及ぼすのか」を人のゆとり、働く環境、健康、人口流出等と多面的にリプランすべきである。おそらく町民の理解は私だけでなく困難であると考えます。鉄道やバスの昨今の厳しい状況は充分理解しています。「路線の維持」は大切ではありますが。だがニーズ離反ではなく、しっかり受け止めて、10年先の「未来志向図」を新しい姿のマスタープラン（大綱5-3）として必ず見直しを求めます。人口増減は企業誘致、子育て、土地利用では効果も歯止めもかかりません。「生活充足交通」が大事である。空白地域だけの問題でなく、自ら適正とした雇用にも影響しています。ゆめみ野、上赤岩、田中などから大川戸で働く職住近接に住む人々が、雨天以外は自転車でもいいが、雨天はそれ以外の手段など余計な出費で苦しんでいます。多数の勤務者は困難で諦めて、転属で町外勤務への変更を余儀なくなった。路線バスの維持だけでは人口減だけでなく雇用面でも困難な状況です。</p> <p>②住みやすく利便性の高い町に住みかえ、離れるのは自然な住民行動です。公共交通は、都市の装置として重要なものであり、次世代担う若者を含めて「地域公共交通計画書」を作成し、第6次の構想に追記をされることを期待します。現時点で「路線の維持」としてありますが「減便、値上げ、廃止、撤退」と負の交通被害を十分予測して、基幹だけに頼らずに、路線がなくなる自治体が増加する現状</p>	
----	---	---	--

		<p>の対策として「交通ネットワーク」の計画作成が住民保全になります。現時点での①の解決として「交通計画書」を第6次に必ず掲載がすることで町民の理解が得られると考えます。大丈夫です。10年先までの地域交通システムは、国交省「リ・デザイン令和5年8月地域交通課」の拡充及び推進支援（財政支援、理論支援クロスセクターの影響評価）を得られます。国交省が公示し、発布される「生活圏単位の、面的な生活交通の環境整備」と観光振興等の地域戦略の一体化した地域公共交通の「リ・デザイン」を作ることです。現段階では「線」から「面」の意思表示でも構いませんので見直しを要望します。</p>	
13	2	<p>また、町民の多くが望んでいる「公共交通の整備は」買い物、病院、公共施設などへの町内での移動手段が含まれています。道の駅にバスターミナルを作る事でその問題が解決するとは思いません。高齢化が進む中で、町内移動の交通網の充実を図ることは喫緊の課題だと思えます。そのための研究組織を早急に立ち上げることも計画に載せるべきだと思います。</p>	
14	1	<p>1) 町民ニーズの一番高い「公共交通の利便性」についてさらに詳しい実態調査をするべきだと思います。どんなことに不便さを感じているのかわかれば、しなければならぬ施策は見えやすくなってきます。</p> <p>2) 地域公共交通の課題の解決策としてあげた内容は住民のニーズにかみあっているのか疑問です。まず、BRTが東埼玉道路の起点から終点までと聞いておりますが、これでは都心への通勤には利用できません。バスターミナルを併設した道の駅の設置ですが、次に、バスターミナルを道の駅に併設した場合どのような移動困難を解消できるのかよく理解できません。この点を明らかにするべきと思います。そして、「空港へのアクセスがよくなる。」という話を耳にしますが、町民が訴える地域公共交通の利便性の問題は空港へのアクセスではないと思えます。これは的外れな話です。</p> <p>3) 地域公共交通の課題解決として下段に挙げた2点、高速鉄道東京8号線の環境整備については大賛成です。ぜひ進めていただきたいです。問題は一つ目の「地域公共交通の維持と環境整備」です。環境整備とはどんなことを言っているのかよくわかりません。「地域公共交通の維持」では、素案29ページでかけた課題にこたえることになりません。しかるべき組織を立ち上げて専門家も呼び、丁寧な実態調査と必要な施策の検討、そして実行した施策の検証というサイクルで、長期にわたって行う課題だと思えます。この件が一番大きな課題で少なくとも過去10年は十分な実態調査と施策の研究がなされてこなかったと思われます。「維持」では町民は失望します。</p>	
18	2	<p>●公共交通機関の充実に力を入れてください。 住民アンケートを真摯に受け止めて公共交通機関を充実するには、どうしたらよいか考え実行してください。鳩山町や滑川町など同じ町で同じ様な課題を抱えている町に学んで欲しいです。</p>	

		<p>タクシー券のさらなる充実や、高齢者や障害者、妊婦さんなど広く交通不便と感じている方々に寄り添う優しい行政を施行してください。住民に寄り添い、共に学びより良い松伏町となっていく事を願います。</p>	
19	1	<p>公共交通の利便性の向上が最優先事項の一つとして挙げられていますが、私も同感です。対応策として是非実現して頂きたいのが、徒歩10分以内の公共交通手段の確保です。高齢者の自動車運転は危険ですし、道路の整備状況と（デコボコが多い）お年寄りの視力の衰えを考えると、自転車の運転も（特に夜間）危険なものになりつつあります。勢い、高齢者の町内移動手段は、徒歩+バスに限定されつつあります。一方、真夏日が年間の四分の一にも及ぼうという異常気象が日常化する中では、私達高齢者にとり、炎天下や豪雨の中での10分以上の徒歩移動は生命の危険すら感じる状況です。町内でも今後ますます増えて来ると思われる、独り暮らし又は老人のみ世帯で、徒歩以外の移動手段を持たない高齢者にとっては、素案にある現状維持では、買い物や病院への移動手段を早晚失うことになるのではないかと心配です。他の市町村では、前日予約制のマイクロバスの運行等、経費を抑えた様々の取組がされているようです。松伏でも、実態を踏まえたうえで、是非、利用者の負担も少なくかつ効果的な対策をお願いします。</p> <p>最近のテレビを見ていると、過去の公共施設の負の遺産が問題になっています。水道管しかり、道路しかり、横断陸橋しかり、橋しかり、校舎しかり。松伏も同じような状況ではないでしょうか。そういったなか、新たな施設として、道の駅をつくる必要があるのでしょうか。一人7万円の税負担が生ずるうえに、将来の収支予測の検討も不十分と聞きました。新たな負の遺産にならないかと心配です。限られたお金を使うなら、どうなるか分からない将来のことよりは、現実の危険が目に見えている道路整備とか、劣化による破損が現実化している水道管整備とか、町の活性化に資することが明白な子育て支援とか、新たな負の遺産をつくり出す心配のない対策に使った方が良いと思います。</p>	
20	3	<p>●バスターミナル併用道の駅計画について 町民にとり、費用対効果があるのだろうか。 現在、タクシー4社、バス2社に路線網維持のため補助金を出している状態なのに、ターミナルを造っても、路線網が改善されなければ、町民の要望と掛け離れてしまう。 また、企業側はどう考えているのか、大変気になる点である。</p> <p>●町民アンケート結果について 公共交通に関する回答が多数である。交通空白地域、交通弱者の実態調査をきめ細かく行う必要があるのではないかと。現状把握が重要と思う。買い物支援、高齢者タクシー・バスチケットだけでは不十分である。専門組織を立ち上げ取り組んでほしい。10月15日緑の丘公園での「町民まつり」にボランティアで参加するが、我が家から公共交通を利用して行くことは現実的ではない。自転車で行くが道路が狭いので不安だ。公共交通を利用して行く町民はどれほどであろうか。</p>	

21	1	<p>お世話になります。</p> <p>「松伏町第6次総合振興計画（素案）」に係る意見の募集について、いくつか気になる点について意見をお送りしたいと思い、簡単ではありますがまとめさせて頂きました。</p> <p>①一番の課題である公共交通網の整備について積極的に取り組んでほしい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通が不便なことを理由に、もっと便利な近隣の市に引っ越す人も多い。 ・バスの本数が充実している箇所も確かにあるが、不便な地域の改善や新しい策に消極的な印象。「今ある路線バスの維持」は大前提として、さらに新たな策が絶対に必要。 ・交通空白地域の現状把握や現地調査を詳しくしたり、住人の声に耳を傾けるなどが必要。 ・交通空白地域限定で町運営のコミュニティバスのような存在があるだけでも全然違う気がする。よくあるマイクロバスとか大袈裟なものじゃなく、小さなワゴン車程度の車で十分だと思う。実現は難しいことなのか？エリアをピンポイントにすれば需要もあり空バスになるリスクも少ないと思う。 		
23	1	<p>○公共交通の充実について</p> <p>住民の生活で、不便なことや、希望することについて、きちんと把握してすすめてほしいです。そのためには専門的に取り組む機関を設けてすすめてほしいです。道の駅と結びつけて考えるのはどうかと思います。</p>		
24	1	<p>○地域公共交通について、町が考えている今後の課題</p> <p>第一に鉄道（駅）の誘致、松伏町に駅をつくって下さい。松伏町の主たる公共交通であるバス・タクシーであるならば、バス・タクシー券などでなく松伏の大地域を廻るバス・タクシーも無料で（今現在行っているバス・タクシーを規則によって（○家庭に六十五才の運転免許○六十五才以上の免許証等）配布されるか配布されないかということとはなくなるのではないのでしょうか。いつもその時期になると券をもらえる人と券をもらえない人が言いあっている人がいます。そういうことはなくなるのではないか。偽りのない券を正しく配布してもらいたいです。</p>		
26	2	<p>町は、地域公共交通計画等を説明する義務があるのでは。</p> <p>町は、町民にわかるような説明会を常に開催することが求められているのではないのでしょうか。</p>		

7	1	<p>議会での一般質問・答弁、町民意識調査、町民懇話会を経て、町民の声が、どれだけ汲み上げられ、生かされているかの視点で、第6次総合振興計画を見ました。</p> <p>●第一：交通問題</p> <p>町が考える今後の課題として「公共交通の利便性の向上」を挙げてあるところが納得いきます。</p>	<p>公共交通については、P8 意見No. 1-1からの町の考え方をご参照ください。</p> <p>8月21日から町内で株式会社カスミによる移動スーパーがスタートしました。今後も継続していけるよう連携に努めてまいります。</p>	無
---	---	---	--	---

		<p>問題は、どのようにしてこの課題を解決していくかが重要と思われます。議会や懇話会では、協議会を作って進めてほしいとの声が多くありました。しかし、その声が生かさず、バス・タクシーの「維持」のみになっています。</p> <p>さらに、計画にある「買い物不便地域などにおける支援・通学・通院などの利用者の多様なニーズに応える」ため、協議会を作り、詳しく調査し、問題を明らかにして対策を講じていただけたらと思います。</p> <p>8月からスタートした「移動スーパーカスミ」の利用者が増え、継続することを願います。</p>	<p>なお、いただいたご意見につきましては今後の施策の参考とさせていただきます。</p>	
9	1	<p>①松伏町第6次総（素案）を読み、私なりの意見・要望を述べたいと思う。</p> <p>この先10年の問題は高齢化です。高齢者は足が弱ってくるので、公共交通機関（バス・タクシー等）の充実をお願いしたい。できれば、町内循環マイクロバスがあれば尚よい。予算や運転手の確保の問題もあると思うが、考えて頂けないか。同時にスーパーや商店がなくなり買物難民が増えている。町でスーパーなどの誘致ができないか。例えば田中地区とか。</p>		
16	4	<p><今を幸せにするために></p> <p>1 町が住民調査され実施している買物支援、通院支援等車がない方のための支援策は、やりっぱなしではなく、評価、改善を行ってください。今困っている人を救済できるベストな交通支援をもっと積極的に行えると思います。</p> <p>細やかな実態調査に基づく細やかな実施計画に期待します。</p>	<p>公共交通については、P8 意見No. 1-1からの公共交通についての町の考え方をご参照ください。</p> <p>買い物支援などの車がない方のための支援策につきましては、社会福祉協議会によるモデル事業などとして実施しております。コースや回数などの利用方法におきましても利用者の皆様の声を聴きながら実施方法を検討し、進めているところですが、利用者が少人数であることなどから見直しが必要であると考えております。</p> <p>いただいたご意見は今後の施策の参考にさせていただきます。</p>	
21	2	<p>②去年からスタートした、毎週水曜のいなげやへの買い物支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・買い物への足がない人たちへの支援として良い手段のひとつだと思います。ただ、まだまだ課題が多い。 ・いなげやでの買い物時間が30分では短すぎる。いなげやと周辺のお店での買い物もできるよう最低60分は必要。90分でも良いくらい。 ・水曜日だけでは不十分に感じる。週に2～3日あるとより定着すると思う。 ・認知度が低い。広報まつぶしに毎号見やすく紹介しても良いと思う。 ・主に年配の方向けの支援だと思うので、時刻表や案内も紙媒体での案内が良い 		無

・序論についてのご意見に対する町の考え方

意見 No.		ご意見	町の考え方	素案の修正の有無
17	1	P5 ⑤安全・安心への意識の高まり 2行目 「首都直下地震」は「首都圏直下型地震」ではないか	「首都直下地震対策特別措置法」などでは「首都直下地震」と位置付けされております。	無
17	2	P5 ⑥SDGsとの調和 3行目 「誰一人として取り残さない」とあるが「誰一人取り残さない」（外務省 HP より）ではないか	「誰一人として取り残さない」と「誰一人取り残さない」の記載については、国連広報、各省庁、都道府県などのHPにおいてどちらの表現も使用されていることから、意味としてほぼ同義であると考えております。町としては「誰一人として取り残さない」が、より強く町の意味を示す表現であるものと考え、使用しております。	無
17	3	P7 広域交通網図 南越谷駅が東武伊勢崎線上にあるが、誤りではないか	いただいたご意見を基に修正いたします。	有

・大綱1（子育て、教育）についてのご意見に対する町の考え方

意見 No.		ご意見	町の考え方	素案の修正の有無
13	3	・子育て家庭への支援の中で、「子育て家庭の負担軽減」がありますが、負担軽減にも多様な形があると思います。大綱の中での表記なので仕方のないことかもしれませんが、項目として「経済的な支援」があってもよいのではないかと思います。 子育て世代には多額の負担がかかります。「子どもを望む方が増えると思う取り組みは？」という設問に20代以下30代以下で7割超の方が「子育て世帯への経済的支援の充実」と回答したことも重要視する必要があると思います。 具体的には、全国的に取り組まれている給食費の無償化や医療費の無償化なども、経済的な負担軽減につながる政策だと思えます。	ご指摘の「経済的な支援」を含め、安心して子どもを産み育てることができるように、子育て家庭を支援することは大変重要であると認識しております。 「経済的な支援」につきましては、「子育て家庭の負担軽減」の中で、こどもの成長支援や親の就労支援も含め、施策を展開していくこととしております。	無

16	3	<p>3 子育て世代が住みたくなる環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食無償化、エアコン設置、学童保育充実等から教育の質の向上、専門性の高い人材育成の学校づくり ・購入しやすい一戸建て住宅 ・安心して遊べる環境 	<p>全国的に人口減少、少子高齢化が進行する中で、町においても緩やかに人口減少が続いており、高齢化が急速に進行しています。人口減少と少子高齢化に歯止めをかけるためには、子育て世帯に選ばれるまちづくりとして、子育て世帯への支援、子育て環境の充実、教育の質の向上、個に応じた教育の推進、こどもの居場所づくりなど、様々な施策に取り組む必要があるものと考えます。</p> <p>いただいたご意見につきましては今後の参考とさせていただきます。</p>	無
17	4	<p>P35 1 子育て家庭への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「配慮が必要な子ども・家庭への支援」の取り組みも必要ではないか 	<p>困難な状況にある子どもたちや家庭を支援することは大変重要であると認識しております。「配慮が必要な子ども・家庭への支援」につきましては、「子育て関連施策の推進」の中で、世帯に対する包括的支援や養育環境支援も含め、関係機関との連携を図り適切な対応に努めることとしております。</p>	無
23	3	<p>○子育て世代が住みやすくなる施策をすすめていってほしいです。小さい町ですが、ひとりひとりに目を配って、くらしやすい町にしていきたいです。</p>	<p>全国的に人口減少、少子高齢化が進行する中で、町においても緩やかに人口減少が続いており、高齢化が急速に進行しています。人口減少と少子高齢化に歯止めをかけるためには、子育て世帯に選ばれるまちづくりとして、子育て世帯への支援、子育て環境の充実、教育の質の向上、個に応じた教育の推進、こどもの居場所づくりなど、様々な施策に取り組むこととしております。</p>	無
17	5	<p>P35 2 子育てを支える環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ヤングケアラーへの支援」については、(4)の「青少年の健全育成の推進」に含まれるのか 	<p>ヤングケアラーの支援につきましては、「子育て関連施策の推進」の中で困難な状況にあるこどもの支援などの施策を展開していくこととしております。</p>	無
8	2	<p>1) こどもや高齢者にやさしいまちづくりについて のところで、松伏でも外国籍の子どもが増えていると聞いています。学習以前に日本語がままならない児童もいるので日本語指導員を募集したらよいと思います。</p>	<p>外国籍のこどもや日本語指導を必要とするこどもは増加傾向にあり、日本語指導の必要性は今後さらに高まっていくものと認識しております。本町においても、令和4年度から町内小中学校への日本語指導員の派遣を開始し、日本語指導が必要な子どもたちへの支援を行っているところであります。</p> <p>なお、日本語指導員については、「生きる力」をはぐくむ教育の充実」の中で施策を展開していくこととしております。</p>	無

9	2	②大綱1の3で特色ある学校教育の推進とあるが、一人々の個性の尊重や生きる力を育成するのは、大半が学校であり教師です。しかし、今の学校現場は子供以上に教師が疲れきっています。本来の仕事以外の仕事（部活動等）超過勤務が常態化し体調を崩したり、過労死のニュースなども新聞に載るほどです。教員が健康でないと子供の個性だの生きる力だの育つはずはありません。松伏町においても各学校の調査をし適切な人数や配置をし早期の少人数学級をお願いしたい。	特色ある学校教育の推進のためには、教職員の資質・能力の向上を図っていくことはもちろん、教職員の業務改善や働き方改革を推進し、教職員が心身ともに健康な状態でこどもたちに対してより良い教育を行うことができるよう取り組んでいくことが重要であると認識しております。 なお、教職員の働き方改革については、「学習しやすい教育環境の充実」の中で施策を展開していくこととしております。	無
---	---	---	---	---

17	6	P35 3 特色ある学校教育の推進 「教員の資質の向上」、「いじめや不登校の早期対応、解消」については、(1)～(3)に含まれているのか	「教員の資質の向上」や「いじめや不登校の早期対応、解消」については、ご指摘のとおり「3 特色ある学校教育の推進」の(1)～(3)の中で施策を展開していくこととしております。	無
----	---	---	--	---

・大綱2（健康、福祉、社会保障）についてのご意見に対する町の考え方

意見 No.	ご意見	町の考え方	素案の修正の有無	
3	2	・国の免許返納制度を利用した方が良い。	第6次総合振興計画基本構想において高齢者福祉については全ての高齢者が元気で暮らすことができるよう、大綱を位置付けております。	無

16	5	2 高齢者が増えているため、気軽に楽しめる地域活動、団体活動、交流活動を増やすことや、高齢者が活躍できて収入を得られる仕組みを構築する。	町の高齢者人口は今後も増加することが予想されているため、高齢者が地域で安心して暮らし続けられるよう、地域においてお互いに支え合う仕組みを構築していくほか、健康大学やけんこうクラブ活動などの地域活動や交流活動を支援する取り組みは引き続き必要と考えております。 なお、いただいたご意見につきましては今後の施策の参考とさせていただきます。	無
----	---	--	---	---

17	7	P36 2 地域共生社会の推進 (1)「重層的支援体制」とは、どのようなことを指しているのかわかりにくい。もっと平易な言葉を使用してほしい	総合振興計画は、町の各種計画の最上位に位置する計画であるとともに、町民や行政におけるまちづくりの共通の指針となるものですので、法律で定義されている用語につきましては、そのまま表記させていただきます。 なお、最終的な製本に向けて注釈を付けてまいりたいと考えております。	無
17	8	P36 2 地域共生社会の推進 「生活困窮者への支援」については、(1)～(2)に含まれているのか	経済的な困窮をはじめとして、就労の状況、心身の状況、住まいの確保、家族の課題、家計の課題、債務、社会的な孤立など、生活困窮者の抱える課題が複雑で多様化しています。そのような状況にある生活困窮者の尊厳を守り、その意思を尊重しながら、地域社会の中で生活を立て直して、少しずつ自立していけるように、従来の縦割りではない横断的な支援を実現していくことが必要であることから、重層的支援体制を推進することが必要と考えております。「生活困窮者への支援」については、大綱2「地域で支え合い、いきいきと暮らせるまちづくり」の大項目「2 地域共生社会の推進」の中で施策を展開していくこととしております。	無
17	9	P36 3 高齢者福祉の推進 (3)「生きがいつくり・活躍の促進」を「生きがいつくり・社会参加の促進」としてはどうか	「高齢者」は、支えが必要であるとする考え方や社会の在り様は、意欲と能力のある現役の65歳以上の方の実態から乖離しており、また、65歳以上であっても社会の重要な支え手、担い手として活躍している人もいるなかで、これらの人を年齢によって一律に「支えられる人」と捉えることは、活躍している人や活躍したいと思っている人のやる気をそぎかねないと考えています。そこで、社会参加だけでなく、活躍できる場の提供とともに支える側を担うという意識の醸成ができるよう「活躍」と表記させていただきました。 なお、町では高齢者が持つ豊かな経験と能力を発揮し、社会において活躍できるようシルバー人材センターに対し支援しているところであり、今後も継続していきたいと考えています。いただいたご意見につきましては今後の施策の参考とさせていただきます。	無
17	23	大綱の全体を通して、引きこもりの方への支援が見当たらなかったが、今後本町でも取り組むべき施策の1つであるとする	ひきこもり支援・高齢者の閉じこもり支援については、地域連携ネットワークを構築し、教育・福祉・医療などの	無

			複数の専門機関による多面的な支援や、訪問支援も用いながら支援段階にあわせて家族や当事者への支援を実施することが必要とされています。少子高齢者社会にあって8050問題など、複雑な社会環境を起因とする心身の不調に対しては、町として真摯に対応していく必要があると認識しています。	
--	--	--	--	--

・大綱3（人権、地域コミュニティ、スポーツ・芸術・文化）についてのご意見に対する町の考え方

意見 No.		ご意見	町の考え方	素案の修正の有無
9	3	③世界においては、ロシアのウクライナ侵攻で核の脅威が言われている。そういう中で町として「非核の町宣言」を議会で上げてもらいたい。以上。	本町においても平和への取り組みは必要なことだと認識しており、平成元年4月1日の松伏町平和都市宣言では、「核兵器の廃絶を訴え再び悲惨な争いのない恒久の世界平和を望む」ことを宣言しております。また、毎年、原水爆禁止埼玉県協議会が実施する原水爆平和大行進事業や、埼玉青年学生平和友好祭実行委員会が実施する埼玉反核・平和の火リレーへの協力をするとともに、平成26年10月核兵器全面禁止のアピールへの署名をするなど、平和活動に積極的に取り組んでおります。	無
17	10	P38 1 人権尊重 この項の中で「平和意識」にも触れた方がよいのではないか		
17	11	P38 2 多様性の尊重とジェンダー平等の推進 「ジェンダー平等の推進」については、項目建てをした方がよいのではないか	P38 「2 多様性の尊重とジェンダー平等の推進」については、性の多様性が尊重されるとともに、社会のあらゆる分野において私たちの個性と能力を性別にかかわらず十分に発揮できる、いきいきと活動できる社会の実現に努めるものとして項目建てをしており、新たに項目建てはいたしません。「ジェンダー平等の推進」は重要なものであると認識しております。 「ジェンダー平等の推進」については、「多様性の尊重とジェンダー平等の推進」の中で施策を展開していくこととしております。	無

17	12	P38 4 地域コミュニティの推進 ・「町民参画の推進」の取り組みも必要ではないか	「町民参画の推進」については、「協働によるまちづくり」の中で施策を展開していくこととしております。	無
17	13	P39 5 スポーツ・芸術・文化活動の推進 ・人材情報の活用と充実 ・団体の育成・支援 ・文化財の保護と保存 ・文化財の愛護活動の推進 ・歴史的資料の収集・調査・保存・活用の取り組みも必要ではないか	「人材情報の活用と充実」、「団体の育成・支援」、「文化財の保護と保存」、「文化財の愛護活動の推進」、「歴史的資料の収集・調査・保存・活用」については、「スポーツ・芸術・文化活動の推進」の中で施策を展開していくこととしております。	無

・大綱4（産業振興）についてのご意見に対する町の考え方

意見 No.	ご意見	町の考え方	素案の修正の有無	
17	14	P40 1 農業の振興 (1) 農業経営を担う人材確保を「農業経営を担う人材確保・育成」としてはどうか ・「農業・農産物のPR」の取り組みも必要ではないか	農業経営を担う人材の育成につきましては、「農業経営を担う人材確保」の中で施策を展開していくこととしております。 また、農業・農産物のPRの取り組みにつきましては、「経営の効率化」の中で施策を展開していくこととしております。	無
20	1	●企業誘致について 住民説明会を丁寧にすべきである。これまでのやり方では、町への不信感が募るばかりだ。 田島産業団地による税金（国からの補助金減額分を差し引き後）の使い道を明確にしてはどうか。 例えば、町が取り組んでいない「給食費無償化」「交通弱者対策（デマンド交通）」など、具体的に示めて頂ければ、町民の理解が高められるのではないかと。	法令に基づき、住民説明会などを丁寧に実施してまいります。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。	無

・大綱5（生活基盤整備）についてのご意見に対する町の考え方

意見 No.		ご意見	町の考え方	素案の修正の有無
17	15	<p>P42 4 快適な生活環境 (1) 下水道施設の利用促進と長寿命化 (3) 合併処理浄化槽の設置促進と維持管理 この2つについて併記するのであれば、(3)については、「市街化調整区域等における合併処理浄化槽の設置促進と維持管理」とした方が、本町が(1)と並行して(3)についても設置促進と維持管理を進めていくことを明確に区別してもらえるのではないかと</p>	<p>現時点において、市街化調整区域など、いわゆる公共下水道・農業集落排水事業区域外における下水道整備計画は予定されておらず、(1)と並行して(3)は差別化するものと考えます。 合併処理浄化槽の設置については、「合併処理浄化槽の設置促進と維持管理」の中で施策を展開していくこととしております。</p>	無
1	3	<p>★豊かな自然と住環境が良いところが、我が町の長所の一つなのに、P43「水と緑のネットワークの形成」が具体性に欠ける。 もう少し 詳しく示して欲しい。</p>	<p>今回ご意見を募集した松伏町第6次総合振興計画の基本構想では、本町が目指す将来像とそれを実現するための長期的な指針として、施策の大綱などを定めています。 具体的な施策は「水と緑のネットワークの形成」に掲げる項目を基に各種事業を展開してまいります。</p>	無
23	2	<p>○自然環境を大事にしてほしいです。</p>	<p>町では、貴重な自然環境を保全し、都市的な土地利用と自然的な土地利用の調和を図った良好な住環境づくりを推進していく必要があると認識しております。 第6次総合振興計画におきましては、大綱5「持続可能で利便性の高い快適空間のまちづくり」の大項目「1 地域の特性にあったまちづくりの推進」や「5 水と緑のネットワーク形成」の中で施策を展開してまいります。</p>	無

・大綱6（生活環境、安全・安心、防災）についてのご意見に対する町の考え方

意見 No.		ご意見	町の考え方	素案の修正の有無
17	16	<p>P44 3 交通安全・防犯体制の充実 ・「交通環境の整備」の取り組みも必要ではないか (信号や横断歩道等の警察への要望を含む観点から)</p>	<p>「交通環境の整備」については、「交通安全・防犯体制の充実」の中で施策を展開していくこととしております。</p>	無

13	4	<p>・防災対策の充実について この数年大雨による道路冠水が多くなり、浸水不安を感じています。新たなポンプ場の設置など治水対策を強化してほしいと思います。 喫緊の課題だと思っています。</p>	<p>町では治水対策として、河川改修事業の促進について国や県へ要望するとともに、排水路の整備や、常設排水ポンプの設置、移動式排水ポンプの整備、土のうの備蓄などを行っております。 「新たなポンプ場の設置など治水対策の強化」については、「防災・消防・救急対策の充実」の中で施策を展開していくこととしております。</p>	無
16	2	<p>2 水害対策にお金をかけるべき 毎年日本各地で大きな被害が出るようになりました。 松伏在住 30 年、家屋が浸水しなかったのは、前にある田んぼのお陰だと思っています。 貯水機能を果たしてくれているのは明らかです。 もし、田んぼが道路と同じ高さの敷地になれば間違いなく家屋は浸水します。 頻繁に発生してる水害なので貯水等の対策にお金をかけることは必ず町民の幸せにつながります。</p>	<p>町では治水対策として、河川改修事業の促進について国や県へ要望するとともに、排水路の整備や、常設排水ポンプの設置、移動式排水ポンプの整備、土のうの備蓄などを行っております。 「水害対策」については、「防災・消防・救急対策の充実」の中で施策を展開していくこととしております。</p>	無
17	17	<p>P44 4 防災・消防・救急体制の充実 (1)「防災体制の強化」とは「防犯組織体制の強化」ということか</p>	<p>「防犯組織体制の強化」につきましては、「交通安全・防犯体制の充実」の中で施策を展開していくこととしております。</p>	無
17	18	<p>P45 5 安全な消費生活の支援 (1)「消費者の自立の支援」とは、どんなことを指しているのか分かりにくい</p>	<p>近年多く見られる高齢者に対する特殊詐欺やインターネットを介したトラブル、成年年齢引き下げに伴う契約問題に対し、消費者トラブルの未然防止、減少のため、消費者への学習機会を提供するものです。 なお、いただいたご意見につきましては今後の施策の参考とさせていただきます。</p>	無

・大綱7（行財政運営）についてのご意見に対する町の考え方

意見 No.		ご意見	町の考え方	素案の修正の有無
17	19	P46 1 効率的な行政運営 ・「行政運営マネジメントの推進」 ・「人事管理の充実」 の取り組みも必要ではないか	「行政運営マネジメントの推進」、「人事管理の充実」については、「効率的な行政運営」の中で施策を展開してまいります。	無
17	20	P46 2 健全な財政運営 ・「公有財産マネジメントの推進」の取り組みも必要ではないか	「公有財産マネジメントの推進」については、「健全な財政運営」の中で施策を展開してまいります。	無
17	21	P46 4 デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進 ・「町民生活におけるデジタル化の支援」の取り組みも必要ではないか	「町民生活におけるデジタル化の支援」については、「デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進」の中で施策を展開してまいります。	無
1	4	★P30の(12)町の認知度向上と愛着や誇りの醸成 10年後、人口減少を食い止め我が町が生き残っていけるのかどうかは全てシティプロモーションにかかっていると思う。 もう少し具体的に町のやるべき事を箇条書きに挙げて欲しい。	町内外に対して町の魅力を発信することは人口減少対策の重要な施策の一つであり、引き続き、松伏町シティプロモーション戦略に基づき推進していきます。 また、戦略では「認知度の向上」「転出抑制」「転入促進」をもとに全庁的に情報発信を図ることとしており、町の強みを活かした、ずっと住み続けたいと思えるまちづくりを目指していきたいと考えていることから、そのような旨の文言を追記いたします。	有
5	2	2) P46 シティプロモーションの推進に関して シティプロモーションは松伏町の魅力づくりそのもの。何を持って住民が町に誇りを持てるのか、外に対してアピールできるのか町にとって重要な戦略的な課題と言えます。なぜならそれが人口減少やひいては最も重要度の高い交通問題にも関与してくるからです。 ◎提案：シティプロモーションのアイデアをより広く、実績と豊富なナレッジをお持ちの専門家を入れた形で推進していきませんか？役場の皆さんと、町内の様々な人たちや企業・お店・農家さんなど、官・民・企業・個人事業主・農家等そしてそれをつなぐ専門家が連携したプロジェクトを立ち上げることです。例えば今取り組んでいるカレーなどはもっと他にない特徴を出すべきですし、若者や海外にも人気のアニメを利用したり、音楽やダンスなど、メディア戦略としてどの層を狙えばより知名度を拡散していけるのかなどを、どんどん意見を出し合いながら具現化していけないでしょうか。		

12	3	<p>④P46のシティプロモーションに関して。シビックプライドは「生活者の快適さや幸せ」や「鉄道はないが未来のあるまち」この視点で考えて下さい。この目的は何ですか。人口の定住維持ですか、移住の促進ですか。経済を動かし、社会を動かすコンテンツとして何を重点化するのですか。</p> <p>地域名産・名所、PB（プライベートブランド）加工食材、環境、フォトスポット、地域充足感、健康都市自慢、創造的イベント、観光行政、関係人口の増大（人の交流）などを発見、開発、育成、完成とPDCAサイクルで「何を、いつまでに」の計画を「今後の進捗スケジュール」として記載かHP化して下さい。「住み心地よいまち」がプライドとなり、初めて町民との共有と共感が得られ、下記の人口ビジョンの未来に繋がります。</p> <p>⑤第6次構想に、肉付けと追記をして頂けたらと思います。「人口増のまたは減少の歯止めのビジョン」の戦略紙面を増やす。「いいね、こんなまち」のテーマで研究しました。1,住める、2,育める、3,学べる、4,働ける、5,楽しめる、おせっかいと思いやりの【移住。活】の運動展開です。埼玉県の中でも、本町が最高に誇れるのは「ゆったりとした住環境と自然こそ」がアドバンテージです。家賃、地代の安さ。住宅の広さ、快適さ、固定費を抑えた素敵な空間、住宅事情の良さを内外にアピール・アピール。この戦略は紙面上、個別対応とするが、金融機関、住宅メーカー、地域おこし協力隊と地域連携で「住むならまつぶし、育むならこのまち」キャッチコピー運動の展開をしてみませんか。新しい明るい未来があると信じています。松伏町の自慢と独自色ですから。</p> <p>「まとめ」 もう一度考えてみてください！</p> <p>考察ポイント4の「町民の想い」と「多様性（他人への尊重）のニーズ」が、10年先の未来に向け、解決の道筋を明示しているのか。今できる優先順位は地域の付加価値を「道の駅でもブランド」でもなく、本来価値の現町民、将来町民の高い信頼と定住意識の獲得ではないでしょうか。「町民選好（ニーズ）の現状把握からの真の地方創生」・リーディング重点戦略に「目的の明確から始めよう」が第6次振興計画に取り組みられているのかを考え、地域の活力向上に着目した内容になっているかの視点で再考願います。財政の危惧、仕組みの手間、失敗（エビデンス・ベース政策とポリシーを）も何も恐れる心配はありません。町民の知恵や工夫は頼りになると思いますよ。</p> <p>SWOT分析の強みは「ゆとりある住環境」「町の緑の多さ」「歴史」、弱みは「高齢化」「生活の自由度が少ない」「知名度が低い」など、どこに最適な価値とリソースを配分するのか優先順位で、行政評価が左右しかねません。ここまでは行政の責務です。その後は町民との協働・連携ですから。「住み続けたい、この町にもっともっと！」</p> <p>辛口になる表現にはご容赦を願ひ、スタッフプライド（職員愛着）に大いなる期待をして、意見具申と致します。</p>	
----	---	---	--

17	22	P46 5 シティプロモーションの推進 (2) 魅力の情報発信については、「戦略的な魅力の情報発信」としてはどうか ・魅力の再発見と発掘 ・新たな魅力の創出 の取り組みも必要ではないか	
----	----	--	--

・土地利用構想についてのご意見に対する町の考え方

意見 No.	ご意見	町の考え方	素案の修正の有無	
4	1	<p>近年の社会経済環境の変化が大きいに加え、示された統計資料の現実を見ると既存現計画のローリングでは立ち行かないし、基本計画の見直しは単に時期が来たからでは済まされない重要な内容と思います。</p> <p>然るに、松伏町の地域的な位置付けを考慮しても新たな展開が必要と思いますし、今回の基本計画（素案）に含まれる「松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、画期的な内容と考えますし、今後町の発展に寄与する具体的取組に期待します。</p> <p>そこで、一点のみ気になることがあります。</p> <p>新たな土地利用検討エリアについて。 （自分の住む地域ゆえのことに恐縮ですが意見と云うより確認的な内容になるかとも思いますが教示ください。） 基本計画素案49ページ 土地利用検討エリア 「③町南西部の（都）浦和・野田線付近の広域幹線道路沿線の3箇所について今後、企業誘致などの土地利用を検討します。」と示されています。</p> <p>具体的には（50ページ）の挿絵で説明しますと、都市計画道路（幅員12m）と県道葛飾・吉川・松伏線と大落古利根川に囲まれた地域、検討エリアは繭玉の形の中ほどが意識的にくびれ、都市計画道路（12m）に添った形を成しています。</p> <p>私が確認したい点は、上記表示に隣接する都市計画道路（幅員12m）に接する北側の部分で市街地化区域に挟まれ、市街化調整区域である地区は、特に着色がなく、今般の土地利用検討エリアでもなく、基本計画には無の状態です。</p> <p>今回の基本計画に位置づけがないことからして、将来的に実施計画対象でもないことから「仮に土地活用の計画を進めようとしても上位計画にないものは具体的協議になりません。」となります。それ故この場所の土地利用計画は如何になるかをお示しください。</p> <p>以上、宜しく願います。</p>	<p>ご指摘のとおり「③町南西部の（都）浦和・野田線付近の広域幹線道路沿線」に接する北側のエリアについては農住環境調和地区となっておりますが、土地利用構想図上では、着色がございませんので、図を訂正いたします。</p>	有

・ 其他のご意見に対する町の考え方

意見 No.	ご意見	町の考え方	素案の修正の有無
5 1	<p>1)意見募集の公示に関して 広報まつぶし9月号P13で松伏町第6次振興計画(素案)に関する意見募集されており、町のホームページで検索しました、非常にわかりづらいです。9月4日のアップなので当該募集記事は新着情報としてトップ画面に掲載されるのは、わずか1~2日です。それ以降は新着情報一覧を時系列で追っていかねばなりません。最終の募集最終日10月3日では相当奥の方に行ってしまう。 ◎提案:松伏町の情報提供ツールのところに第6次振興計画に関する専用ボタンを作れませんか?その時点での最新進捗状況もそこで確認できるようにしていただくと良いと思います。都度状況を町民が確認できて、意見が言える場にしてもらえたら最高です。専用の投稿フォーマットを作成してもらえたら、町民も意見が出しやすいですし、町の側からアンケートを取りたい場合でも便利かと思えます。町と町民のインタラクティブな形が生まれるのでは。</p>	<p>いただいたご意見につきまして、松伏町第6次総合振興計画(素案)に係る意見募集について、すぐにホームページのトップ画面において常時表示されるよう変更いたしました。</p>	無
15 1	<p>広報に意見書募集とありましたが、素案を確認するにはホームページ、役場、中央公民館、多世代交流学習館、北部サービスセンター、B&G海洋センターに出向かなければならない。せめて、まつぶし広報に素案の概略だけでも載せるべきだと思います。 広報は町民の情報誌です。大事な素案であるからこそ町民に知ってもらい、その為の広報だと思います。多くの町民が目を通します。そこがまず大きな問題だと思います。</p>	<p>松伏町第6次総合振興計画(素案)については約50頁の資料となり、内容も町政全般について多岐にわたるため、広報紙上では意見募集の実施についてお知らせをし、ホームページへの掲載と各施設での閲覧という形をとっております。 松伏町第6次総合振興計画(素案)に対する意見募集については町の町民意見反映手続き制度に基づき、実施をしております。いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。</p>	無

24	3	<p>○今時点の問題点 広報の冊子（十月号）で買物が出来ることができますという走る車の買物がありますが、私の松伏町ゆめみ野東には場所があすか病院の駐車場かメロディしかのっていません。あすか病院もメロディも遠いのです。 それに私事ではありますが夫が六年もベッド生活で私が介護しています。私は五年前に脳梗塞を患い、二年前は腰もいたため買物には押し車を押して行きます。（田舎みたいにお買物すんだらのせていくよ）とたやすく言う人は誰もいません。息子がいるけど休みの時は乗せて下さるけど、一か月に三回くらいしか言ってくれません。夏のあつい時は夫と「二人であるもので食べようね。」と息子も生きるために働いているので、いつも「無理無理」といって息子もあてにできません。娘は働いているもので当てにできません。だから、あついけれどもがんばって夫の病気を心でうらみながら買物に二度、三度休みながらがんばっています。もう限界でつかれたらひるねをしたりしてがんばっています。（海あり、山あり、川あり、わが古里に帰りたいです。）ゆめみ野東三丁目さんは老人の人がいっぱいいます。老人の方が自転車にのって（八十六才）買いものに行っています。ゆめみ野の方、人数を集めますから、早急に実施してください。 ○道路を歩きやすく。レンガがはがれて押し車と一緒に転びそうになりました。 ○みなさんと仲よく気持ちよく生きれるようにがんばろう。 ○ナマゴミを入れるフクロ（金物・せともの…）無料で配布してください。 ○敬老者さんを楽しくなかよく生きられるような企画してください。以上。</p>	<p>第6次総合振興計画の基本構想においては、将来像を「みんなの笑顔未来へつなぐ緑あふれるまち まつぶし」と掲げ、重点戦略（リーディングプロジェクト）として、「1）こどもや高齢者にやさしいまちづくり」、「次世代につなぐ活気と賑わいのあるまちづくり」の2つを位置づけ、将来像の実現を目指してまいります。</p>	無
----	---	---	--	---

26	3	<p>町のホームページ計画、素案を情報発信しているといいますが、町民の何パーセントの人が、ホームページを閲覧しているとお考えですか。調査したことはあるのですか。 日々の生活に追われている自分たちが、閲覧してどう動くべきか、町として、説明されていますか。 町として、町民への情報発信の仕方を再考してください。</p>	<p>情報発信の方法につきましては、「町政等に関するアンケート調査」において調査を実施しております。 なお、ご指摘のありましたホームページについては、令和5年度上半期で月平均43,874件の閲覧数がございます。 素案の公表については、ホームページ以外にも町役場町政情報コーナー、中央公民館、多世代交流学習館、B&G海洋センター、北部サービスセンターにおいて閲覧できるようにしており、広報紙などでお知らせしております。</p>	無
----	---	---	--	---